

☆神戸っ子対談

バイオニア精神の復活を

柏井健一 〈柏井紙業㈱社長〉

上島達司 〈UCC上島珈琲㈱本社副社長
神戸青年会議所理事長〉

★神戸らしい都市型産業の育成を

柏井 神戸には現在日本でも何本かの指に入るような超大企業があつて、その大企業の系列のなかで成長してい

る中堅企業があり、さらにそれをサポートしているような中小企業があるわけです。つまり超大企業の存在で経営が成り立っている企業が多くあるのですが、神戸には都市型産業というか、ユニークな形で伸びてきている産



柏井 健一氏

業というものが数少ないですね。

UCC上島珈琲などはその数少ない例なのですが、こういう型の産業が育つ温床が神戸にはなかったというか少なかつたようですがね。それは神戸の産業構造が単純であつて、都市としての個性がもう一つ強くないからでしょう。それに対して二、三年前からファッション都市づくりということを神戸商工会議所が提唱して市も協力していますが、これは地場産業というレベルの低いものでなく、もっと情報産業的な色彩をもった高度なものを生み出そうという努力をしているわけですね。

重化学工業というものはこれからはこんな大都市の中では育たないし、また都市というものは重化学工業の出荷高でその価値が決まるものではないですから、当然神戸も新しい方向へ向かつていく必要がありますね。

昔は煙突から煙がたくさん出ているからということ、その町がよく栄えているという考え方がありましたが、今では都市の評価にとってそんなものは関係ないわけですね。それよりもその都市に住んでいる人間の文化の程度の方がもっと大切になってきたので、住民の中から生まれてくる一つの都市型産業の育成ということが一番のポイントになってくるんじゃないでしょうか。

たとえば工業製品の出荷高においては神戸市と京都市とをくらべると、神戸市の方がずっと高いと思うんですが、京都には何も鉄工所や造船所があるわけじゃないから工業生産品としての京都というのは小さいですが、本当の意味での附加価値をどちらが高める仕事をしているかといえ、私は神戸よりも京都の方が高いと思いますね。京都というのは土地柄を生かした、製品をつくり出すような仕事をやってます。そんな情報産業が発展するということが、都会であるということですね。

上島 なるほど、そのとおりですね。
柏井 岡山の水島地域は、神戸市の何倍かの工業生産高はあるかもしれませんが、あそこは工業地帯であつて、都市とはいえないでしょう。神戸に住んでいる人たちはそ

のへんに注目しないと、神戸の町というのは寒々とした、あるいはギスギスとした町にしかれないし、都市としての将来性というのはないと思いますね。

よくいわれるように、重化学工業から脱皮して知的集約的産業型へ移行していかなければならないでしょう。

「メイド・イン・パリ」というと五百円の素材のネクタイが一万五千元にも売れるような情報がパリにはあるわけですね。「メイド・イン・コウベ」と書いたらそれが日本、あるいは世界的に売り出せるようなことを神戸の町でしていくことがこれから必要になってくるでしょうね。

上島 神戸は関東の京浜工業地帯にくらべてはるかに住みやすいし、人口の密度も同じように高いわけですからこういう所では工業というののもう将来性がないでしょうね。それに代わるものは情報産業とか商業でしょう。柏井 商業といつても単なる「物流」と「情報を加味した物流」とがあります。

上島 今の神戸をみていますと、物流、すなわち商品の流通機能だけに終つてしまつて、ブランドを売つて成り立たせようというような意気込みや考え方が非常に少ないように思いますね。

情報機能をみても東京や大阪に吸いあげられて、神戸は横浜と同じように物流機能だけが残つてしまつて……柏井 あとはショッピングセンターがあつて、住みよいベッドタウンであるということだけに終つてしまつては産業界の未来はないわけですよ。

上島 ショッピングタウンとかベッドタウンとしてはいい町になるでしょうが、産業といえるだけのものを神戸に育てていくのは大変なことでしょう。

柏井 しかし神戸百年の歴史というものを振り返ってみますと過去において海運業なり貿易なり、日本の近代産業の基礎となつたものを築いてきた力が神戸にはあるわけですね。そして今でもそのポテンシャルは神戸にあると思うんです。その芽を次の百年に向つて育てていく努力



上島 達司氏

ヨンをもたなくてはね。企業でも給料だけよければ社員が集まるかといえませんが、はいかないですよ。やはり企業に夢がなければ。

柏井 バイオニアの精神がだんだんなくなってきたからね。神戸の街は住みよいし、気候はよいし、食べるものはいいし、何か温室の中に入ってしまったという感じはありますね。何んとかバイオニア精神を呼びさませる方途を考えたものです。

★企業の社会的責任を考えなおそう

をしないといけないですね。そうでないと神戸は周辺都市に通勤するだけのベッドタウンになってしまふ。

上島 そうなるとそれはもう「街」であって「都市」ではないですね。

柏井 神戸の将来を考えるにはやはり空港問題を抜きにしては語れないですよ。まず人の流れをここに止めるということをもつと積極的に考えなくては。

知識なり情報なりをもつた人をここに集めて、そういう人の集団の中から新しい産業が出てくると思うんです。ところで、UCC上島珈琲とかネスル、リプトンなどの本社は神戸にありますね。

私は小さい時から朝にはパンを食べて、紅茶を飲んで育ってきたんですが、もし大阪に生まれてたら朝からコーヒー飲んだり、紅茶飲んだりしてなかったと思うんです。これは神戸だからできたことで、神戸には生活の中にもそういう特徴があるんですよ。そういう芽を見つけて育てていくことが新しい産業の発展にも結びついてきますね。

上島 それに行政も企業も市民も将来に対する夢やビジ

上島 青年会議所のメンバーは今年は一丸となって一つの事業なり行動なりができるように、昔の同志的な結合精神をとりもどさないといけないと思っています。ですから連帯意識を高めようというのが一番の目標です。

それから私達のように三〇代というのは大変迷う年齢らしいですが（笑）、人生なり生きる哲学なりといったものをもう一度考えて勉強しなおそうと思っています。つまり自己の確立が二番めです。

三番目は温故知新というか、古きをたずねて新しきを知るということです。せっかく神戸青年会議所に入っていたいた二七〇人の会員の方々に失望を与えないようにし、団体としての力を発揮できるように固めなおそうと思っています。今年はセミナーとかいろんな共同事業が例年にくらべて多くなると思っていますね。

柏井 神戸には神戸青年会議所を含めて四つの経済団体がありますが、これらの間にはほとんど横のつながりがないんですね。何か一つのことをやるにしても個々の団体の力というのは弱いものですから、もっとみんなで神戸の体質を改善していくことをやらなければい

けないですね。今ほど市民の眼が経済に向いている時はないですからね。それと同時に企業の社会的責任というものもが今ほど企業家の肩に重くのしかかっている時はないですよ。

上島 企業というのは経営者次第ですから、企業の社会的責任というものを経営者がもつと考えていたら、今度のような事態にはならなかったと思いますね。

柏井 今まではそういう意識が低かったですね。これを何らかの形でとりもどさないと、企業は社会から遊離していくような形になりかねない。こういう問題は各経済団体の中で積極的にとらえるべきです。

今度のような買占めや便乗値上げ、インフレがひどくなると、政府による官僚統制が行なわれるようになってくるでしょうが、こうなるともう自由主義経済体制の破棄ですよ。これだけは絶対避けないといけない。そのためには自らの経営姿勢というものを経営者は正さないといけないです。

上島 そういう意味から神戸青年会議所はもつと勉強しなさいないといけないと思っています。(笑)

★バイオニア精神をとりもどそう

柏井 神戸の将来を論ずるには空港はやはり一つの大きなポイントですね。貨物や人を集めたり、情報の収集をするには今日ではやはり航空機ですよ。公害のない空港を神戸沖にもつてくるというのは、そこを足場としてのポर्टアイランドの活用という点からみても神戸市の将来に非常に大きな影響力を与えてくれるんじゃないでしょうか。個人個人と話をしてみますと、真向から空港に反対している人は少ないですよ。

上島 そうですね。「公害さえなかったら」という条件はつくにしてもね。結局適正な情報の不足でしょう。

柏井 また、ポर्टアイランドが単なる物流基地に終わってはだめですね。KFA(コウベ・ファッション・アソ

ーシエーション)があそこに土地を買って団地の建設をはじめようですが、神戸には昔からファッションに対する目はありますので、「メイド・イン・パリ」じゃなくて「メイド・イン・コウベ」が今世界的なファッションの地位を確保できるかどうかということが非常に大切な問題ですね。

それと神戸には人を集める場所が全然ないのが残念ですね。見本市や展示会をするにしても適当な場所がないでしょう。最近では地方の中小都市にいつても立派なホテルがいくつでも建っているのに神戸にはそれがありません。だから神戸には人をよべない。

上島 会議をやって人を集めることができないのは困ったもんですね。京都が成り立っているのはやはり立派な国際会議場があり、ホテルがあり、夜遊べる場所があるからですよ。そうでないとあんな寒くないところへ行けません。(笑)

柏井 駐車場もないホテルが一つしかないのが神戸の現状ですよ。

日本でホテルの発祥の地といえば東京の帝国ホテル、横浜のグランドホテル、それに神戸のオリエンタルホテルでしょ。大阪にホテルのない時代から神戸にはホテルがあったんですよ。台湾の中小都市に行っても大きな立派なホテルはいくらでもある。

国際港都といわれる神戸に人をよべるホテルがないというのは恥ずかしいことです。ポर्टアイランドに一つ神戸らしい会議場なりホテルなりを絶対つくるべきですね。

上島 もう一度バイオニア精神を発揮してがんばらないといけませんね。

〈松の家にて〉

経済ポケット ジャーナル



★灘神戸生協組合長に 那須重治氏就任

灘神戸生活協同組合（本部神戸市組合員約三十三万世帯）の組合長としてこのほど次家幸徳氏の代りに那須重治氏が就任した。

那須氏は同生協創立者の一人、那須善治氏の長男で旧灘購買組合時代から理事



那須重治氏

職にあり、四十三年五月に副組合長に就任しているが同生協組合長は常勤理事の中から選ばれることが慣習化していただけに、非常勤でしかも現職経営者である那須氏の選任は異例のこととして注目される。

那須氏は昭和十年東大工学部卒。東芝電興小国工場合金鉄工場長、軍需省鉄鋼局技師を歴任、四十五年十

一月に栗村金属工業社長に就任。兵庫県出身で、六二才。

★神戸経済同友会次期代表 幹事に柏井健一氏

神戸経済同友会（代表幹事、下川常雄住友ゴム工業社長、松村文二郎太陽神戸銀行常務）は次期代表幹事に下川氏の後任として柏井健一・柏井紙業社長を決めた。新代表幹事の任期は四月に開く総会から向こう一年間。

柏井氏は四十六、七両年



柏井健一氏

度の代表幹事だった秋田博正・正興産業社長らとともに神戸J.C.（青年会議所）を創立、秋田氏に次いで二代目理事長を務め、同友会でも秋田氏に続くJ.C.出身二人目の代表幹事となる。

柏井氏はまた兵庫県が西宮市に建設中の阪神流通センターの阪神総合卸商業団地協理理事長として業界の世話役もしており、その行動力に期待がかけられている。

柏井健一氏は昭和十七年甲陽高等商業卒業、二十四年柏井紙業専務、三十八年同社長。神戸市出身、五二才。

★「神戸・天津友好の船」

四月十四日に出発

「神戸・天津友好の船」は四月十四日午後四時神戸港を出港し、十日間の日程で訪中することが決った。派遣人員は総勢四百人で市民レベルの直接交流は日中国交回復以来初めてのことである。

具体的な交流方法としては①労働者は人民公社で汗を流して働く②教師は図画

この市民交流のため、神戸市は派遣メンバーへの参加希望者を労働者、医者、婦人、教師、高校生、大学生、スポーツ選手、港灣関係者など職種、階層別に班編成する考えで、日中友好関係者らによる「神戸・天津友好の船」派遣団員編成選考委員会が現在その作業を進めている。

なお友好の船は四月十四日午後四時に神戸港を出港し、二十四日午後六時に帰港する予定。

★ KOBE オフィスレディ ★



西村京子さん（21歳）
株式会社なんすい食品

栄養士として毎日多忙を極めている。神戸新聞社の社員食堂の昼食をまかっているため午前中はそこで采配をふる。毎日のこん立てを考えるのが大変だ。家政科在学中の成果が今実地に役立っている。家は淡路。芦屋で下宿。もちろん自炊。自分の食べるものには余り熱が入らないとか。入社一年。仕事の要領が分かりかけたと同時に厳しさも分って来た頃だ。（神戸女子短期大学卒業）

海中排水発電構想

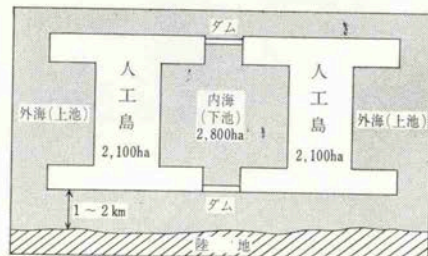
諸岡 博熊

△阪神外貿埠頭公団工務部長▽

エネルギー危機が今日ほど深刻となったときはない。このような事態に備えて国内にあるエネルギー資源を見直おして、その開発研究を遅ればせながら真剣に取り組む必要がある。

本号では新しい構想の水力利用のエネルギー開発をとりあげてみた。

水力発電といえば、河を堰きとめて貯水池をつくり、大量の水の落差を利用して発電する形式で、黒四ダムなどでみられるもの。ところが、国内の水力開発の効率的な場所ほとんど開発し尽されたといわれる。なぜなら豊富な発電に必要な水量が常時確保できる地点は、極めて少なくなり、建設費が巨額になる割にその発電規模が小さくなっていったためである。したがって、最近では水量が不足する発電所で、上池の貯水池から水を下池にため、安い深夜電力でポンプアップして上池に揚げるという、いわゆる「揚水発電所」までも出現している。



海中排水発電所

陸上の水力エネルギー利用に対し、海の潮汐エネルギー利用の方式として、有名なものに、フランスのランヌ河口の潮汐発電所がある。

このような水力エネルギーの利用にヒントを得た徳島大学工学部金野仁教授は、新しい構想として「海中排水発電所」を提案している。これは、海中にダムで囲こんだ大きな池をつくり、海水の落差を利用して発電する一種の揚水発電所である。すなわち、陸上の揚水発電にあたる上池は周囲の外海で下池はダムで囲こまれた内海である。

ダムは、海底の堅固な地盤の上に建設する。内外の海水面の水位差を十七メートルに保つ。ダムのなかに、チューブラーポンプ車を設置し、発電機と排水用の揚水

機を兼用させる。一台当たり出力一万キロワットのもの百台とすれば、百万キロワットの発電が可能となる。

海外に面した陸地から一―二キロ沖合に、I字形をした巨大な人工島を二つ並べてつくり、その島と島を結ぶ陸側、沖側のところにそれぞれダムを二か所設置する。

昼間は、外海から内海へダムを通じて海水を流入して発電する。もし六時間で水位差を十メートル縮めるようにすると、毎秒約九千トンの海水が流れ込み、百万キロワットの発電が可能である。これを四時間に短縮すれば、二百万キロワットとなる。

夜間は、揚水発電と同様に、安い深夜電力を利用して、内海から外海に海水を排出する。

巨大な人工島は、この発電所建設費用にみあった規模の大きさとし、海上都市やレクリエーション、または、原油や食糧などの一大備貯基地に利用するとよい。

ただし、このようなユニークな海中排水発電所の建設可能地点は一概にいないが調査することによって限定されてくるのではないかと考えられる。さらに関連技術の研究開発も若干必要とされるので、ナショナルプロジェクトとして取り組むべきであろう。

こんにちは赤ちゃん



久枝加代子ちゃん(S.48.4.10生)

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科




芦屋市大槻町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

MAKE UP WITH ROYAL

冬から春に

ディオール、カルダン、サンローラン
のセルロイド枠
舶来、国産のオール・メタル・フレーム
にてよりよく装って下さい



 **神戸眼鏡院**

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874-5

元町店は毎水曜日が休みです

三宮店は第2、第3水曜日が休みです

ひとつの時に生きる二人のための
ロンジン・ペアウォッチ



ロンジンのペア・ウォッチは二人の心を結ぶ
ロマンチックな時計です。
最も種類がそろっているロンジンのペアウォッチ
からお好みのタイプをお選びください。

LONGINES

特約店



美甲時計店

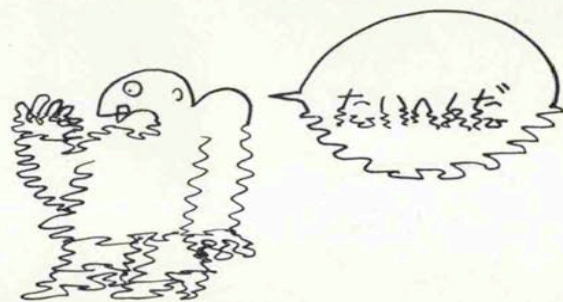
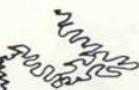
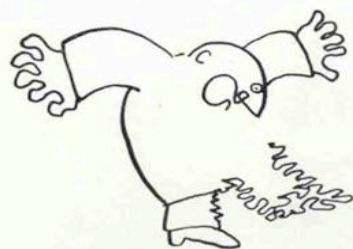
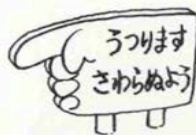
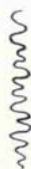
元町店・元町三丁目 TEL331-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL331-8798

LONGINES

Ref.8391, ¥47,000

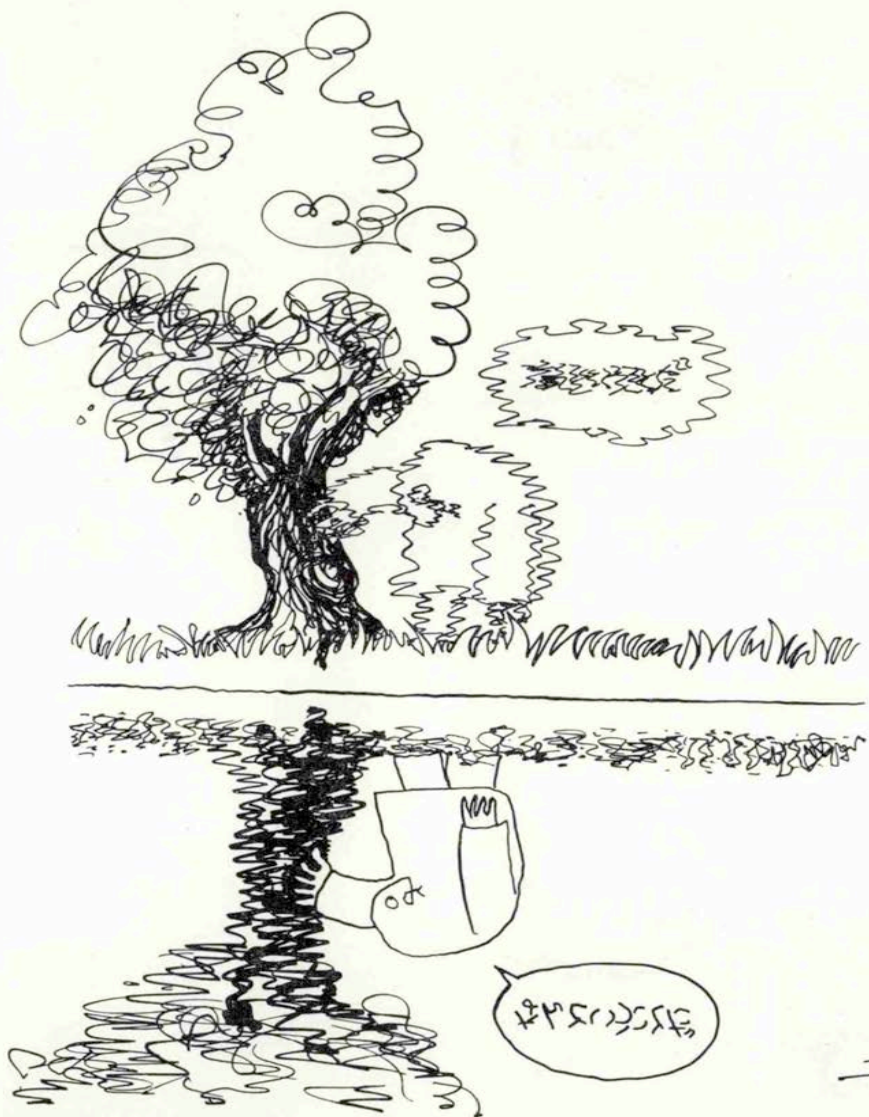
Ref.8363, ¥47,000

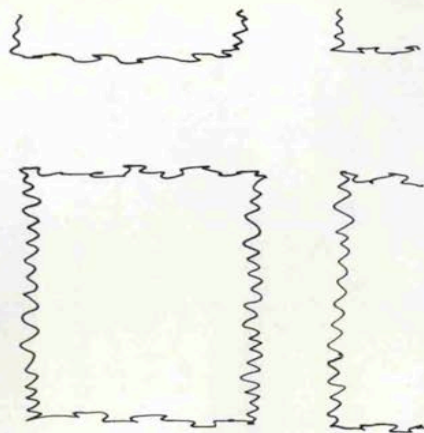
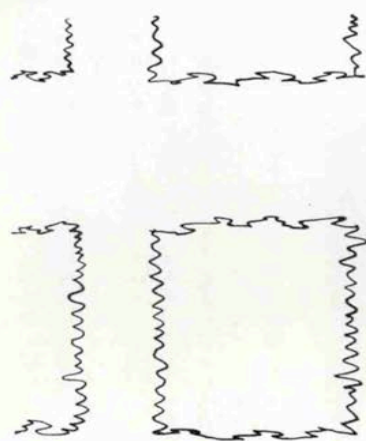


アト線

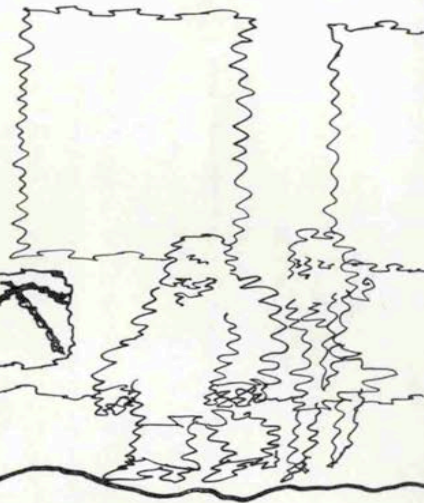
VOL.3 ~~~~~

岡田 淳





どうやら
最高の職場を
見つけたぞ



「健康」をテーマに、1月29日30日東京オリピック記念青少年総合センター体育室で「健康あつての衣服であり、化粧であり、コミュニケーションなのだから、大変な時代を強く生き抜きましょう」と、3年間のワークショウを開いた三宅一生さんが、2月1日神戸ファッション市民大学で、イツセイが初めてという講演が、東レのマーケティング部主幹の遠入昇さんと共に開かれた。遠入「物不足だから耐乏生活一辺倒という消費という言

クリエーター の体験論

●ファッション市民大学より

三宅 一生 昇
遠入



講演中の遠入さん（左）と三宅一生さん

いで、自分の好きなものを作ってもいい」といわれ、多くのスタートが始まったのです。その時身体が弱いとダメだ。人間が着るものを作らなくてはと自分の基本姿勢を自覚して、ショウを開きました。そして、万博の頃、スタッフワークで初めて仕事をし、ニューヨークへ帰ったのですがアメリカは非常に分業化が激しく、各分野がなんとなくやっているとという感じだった。日本は技術は立派でないが物づくりへの情熱があるし、京都などで日本に遣されたものの中で、庶民の機能的な心をうけついだものが見えこれをやらなくてはと思ったのです。それと自分が将来仕事をやって行きたいというスタッフが見つかったということ、そんな意味で日本を選んで仕事を始めました。

日本はクリエイションに全く敬意を表さない国、ファッションは外回から来るものという感覚。困りますね。流れ去り変化して行くものとファッションをとらえるのではなく、積み重ね、人間の全般の価値を置いて行く仕事として考えて行かなければ。日本のファッション企業は非常にあきつぽい。ほくはクリエイトすることをお金に換えているけれど、企業に三年間は頑張っ下さいというんです。今度のショウも三年間の仕事を、ファッションは価値を求めて変化し、これだけの姿勢をもち続けたという積み重ねを見せたんです。売れ筋を作るのは企業の人達で、販売もクリエイト、創意・工夫ですよね。だから神戸の皆さんも、神戸の街の特色を伸して行く、また市民に美しいということはどういうことを教えることを継続させて行く。それが神戸のファッションを育てて行くんじゃないかと思えます。ほくは日本の伝統は何かというところ、ほくは伝統の上に立っている。伝統はほく自身であり、考え方のものが日本という存在なんです。今、非常に難しい時代になって、こんな不安で暗いときこそ、より美しく、良いもので、機能的な質的なものが求められるので、クリエイターの仕事が逆に認められ、力を発揮できると思いますね。」

〈講演より一部抜粋〉

葉を使うのが過去のようなことにいわれるが、こういう時こそ適正な生活設計が必要で、その中心になる三宅さんの志向を、クリエイターの体験の中からききましょう」三宅「8年前ほくがパリへ行く時、絶対、日本になんか帰るもんかアバよという気持ちだった、それが何故日本にいるのか。パリで4年勉強して、画家の今井俊満さんに一度日本を見るべきだといわれ帰ってまだ日本はダメだなという印象を持ち、ニューヨークで既製服と取りくみました。半年目に病氣して帰日した時、東レからのお誘

74 SERIZAWA SPRING

春風の微笑^{ほほえみ}

古い洋館の庭にも やさしい陽だまり……………
セリザワスプリングコレクションは、
春風とともに あなたの印象を いっそう ひきたてます

EXTEND IMPERIAL FASHION

SERIZAWA

本店 = 神戸市生田区三宮町 3-18





白のまぶしさが
 気になる季節になりましたね
 そして美しさも
 気になる春です

婦人服飾とおしゃれ洋品

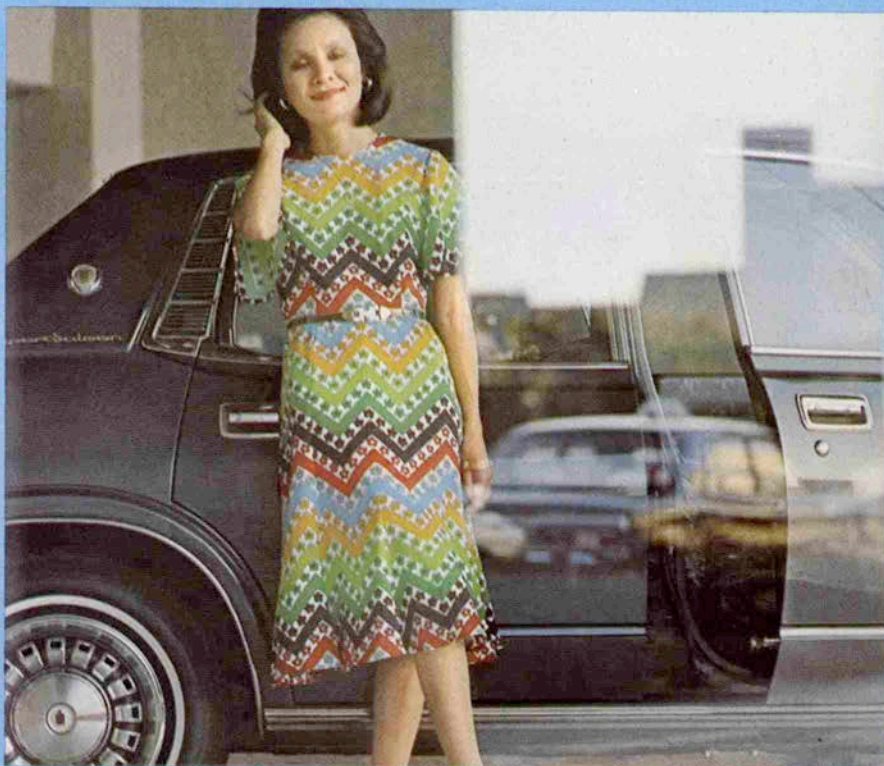
スギヤ

三宮町 3-15
 TEL 078(331)3436

- 六甲店 阪急六甲ファミリーストア内
078(871)2732
- 東京店 池袋バルコ地下1階
03(987)0567
- 梅田店 阪急三番街地下1階
06(372)4877
- 宝塚店 阪急宝塚ファミリーストア内
0797(71)5033
- 阪急神戸店 阪急百貨店神戸支店1階
078(321)3521
- 心斎橋店 心斎橋バルコ3階
06(245)1316
- 芦屋川店 阪急芦屋川ファミリーストア内
0797(31)8193

なぜだかシアワセ……春。

兵庫トヨタ・ショールームにて



オートクチュール

モデル 舟木加代

■大丸前店

生田区三宮町3丁目45

TEL <331>7550・2030

<871>3179(プレタ室)

<881>0907(事務所)

Soen
装苑

藤井 まつ子

■六甲店

灘区将軍通3丁目4-24

TEL <871>8303

●インテリア・ダイアリー Mar.—ブチック

春はブチックの窓辺に

ファッションの館には余計な色はいらない。どこか一点、はなやぎがあればよい。



施工／入船株式会社
設計／園部デザイン事務所
ブチック（イリエ（本山））

インテリアデザイン

企画・設計・施工のオールマイティ  入船株式会社

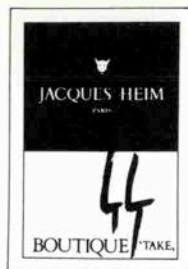
神戸市灘区友田町5-2-2(グランド六甲ボウル1・2F) TEL. (078)851-3191

おしゃれの森へ。



あのジャックエイムの手になる装いを身につけて
ください。からだじゅうからにじみ出る気高いフ
ァッション感覚が、街の目を意識させます。
森をぬけると春の光がまといつく。

神戸市生田区山本通3丁目63-17
メゾントーア・1階
☎神戸(078)242-1835~6
営業時間 A.M11:00~P.M8:00



生活に潤いを与える日常品の美しさ

3月のインタビュアー/石野順子さん(主婦)



「生活をいつくしむころ」に
あふれた 1F トアロード玄関 ジョージジェンセンコーナー

“未来のアンティーク”と呼ばれるジョージジェンセンシルバーを中心に、二百余年の歴史をもつ陶器の名門ロイヤル・コペンハーゲン。フランスが誇る最高のクリスタイル、バカラ。フィンランドのデザインを代表するイタラ・グラス。重厚な食器コブコ、木の持ち味を生かした食卓用品スカンフォーム等、親子代々ご愛用いただけものばかりを精選したコーナーです。(左 石野さん 右 服部さん)



DAIMARU
もとまち
TEL.078(331)8121(代)

「私は日用品の美化を私の最大の目的にする」というジョージ・ジェンセンの言葉に表わされるとおり、この1Fにあるジョージ・ジェンセン・コーナーは生活に潤いを与えてくれる商品が、バランスよく配置され、素敵なショールームになっています。「春になると自然に街に出るのが楽しくなりますね。街の装いがカラフルになり、そよ風が吹きはじめのせいかしら？」と笑顔で語るミセス、石野順子さんが今月のショッピングインタビュー。お相手は婦人雑貨部の服部玲子さんです。

石野 このコーナーは昨秋の増築のときに誕生したのですか？

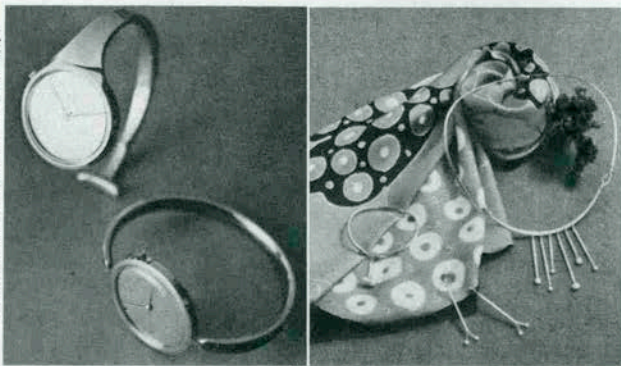
服部 一週間はかり早く十月七日にオープンしました。創った人の心が使う人に通いあう、つまり「創る心」と「使う心」を結ぶコーナーにしたいと思っています。道具を大事に使うためには、創った人の心が使う人に通いあうようなものでなければならぬでしょう。

石野 そうですね。使いこめば使いこむほど良さを認識できるものは愛着をもって大事に扱いますものね。

服部 日本の着物と同じで、昔からずっと使用しているものなので使う人の身になって真心こめて作っているんです。単に見てくれがいいというかデザインがいいという事だけでなく、ナイフやフォークだったら持つてみていちばん使い易いよう微妙な角度やバランスが保たれていますし、他のものでもすべて実用の美も兼ね備えているんです。その上、色や形がよいというのだから大事にしたいくなるのは当然でしょうね？

石野 そうですね。食事がよけい楽しくなりますわね。日用品の他に、すてきなアクセサリーもあります。すべて素材は金、または銀ですね。

服部 世界で最も格調高い銀製品のメーカーとして定評を得ているジョージ・ジェンセンはデンマークの



工芸品の美しさを伝えているアクセサリー

コペンハーゲンのブレッドゲートに生まれた工房を起源としています。珊瑚・琥珀・オニックス・ラピスなどの半貴石をとり入れた銀のアクセサリーの創作をはじめたんです。のちに容器類・刃物類なども生み出されるようになったので、この素敵なアクセサリーの方が最初なんです。当時、この工房はケバケバしい光沢のある薄くプレスされた銀板の工場生産物や、模倣の繰り返しが氾濫していたなかで、意欲ある芸術家、細工師などの憧憬と尊敬を集めたそうですよ。

石野 ジョージ・ジェンセン社のデザインがいまだにその価値を失わず、人々にあらためて工芸品の美しさを伝えているのは、工房が生まれた当初からの伝統と歴史と精神がいまも流れつづけているからです。

服部 そうですね。銀という高価な素材に抵抗し、その価値を人間のものとすべく努力しつづけたデザイナーの良心と感受性に負っているからだと思います。

石野 このコーナーには、他にロイヤルコペンハーゲンの陶器や、パカラクリスタルなどが置いてありますが、かきこい買い方を教えて下さいますか？

服部 ロイヤルコペンハーゲンは頒布会がありますので、ご利用なさるといいと思います。春の結婚シーンですが、お祝いやお嬢さまのお道具としてお揃えになるのも一生ものですので記念になっていいですね。スプーンとかナイフを裏に日付を入れて毎年一本ずつ増やしていくのもシャレた買い方だと思います。

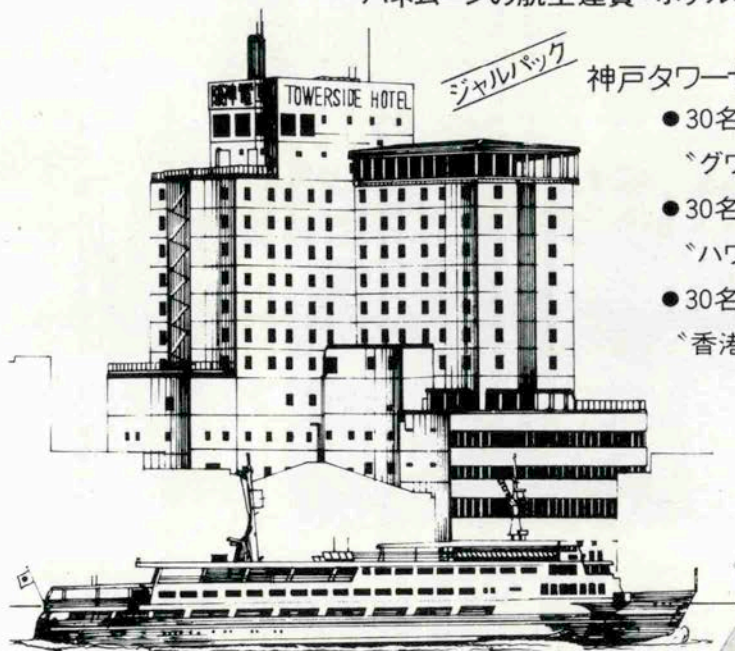
石野 うちの娘が着物などたくさんいらないから、そのかわりここにある様な素敵なインテリアや日用品を持つてお嫁に行きたいというのですよ。ここにいたらその気持ちがよくわかりますわ(笑)。

ウエディング
のことなら

すべておまかせください

挙式・ご披露宴から、ハネムーンまでいっさいの費用をバックしています。

ハネムーンの航空運賃・ホテル料金も含んだ、便利なバックです。



神戸タワーサイドホテル ウエディング パック

- 30名さまのご披露宴と
　　〆グワム〆ハネムーン 346,000円より
- 30名さまのご披露宴と
　　〆ハワイ〆ハネムーン 480,000円より
- 30名さまのご披露宴と
　　〆香港・マカオ〆ハネムーン 380,000円より



阪神電鉄グループ

神戸タワーサイドホテル

生田区波止場町1・中突堤前 ●お問い合わせは TEL (078) 351-2151 TEL (078) 221-5637 (阪神航空・神戸営業所)